

地域おこし協力隊

to 市議会

香取市初の任命となる地域おこし協力隊。地域住民との交流を大切に日々地域のために活動する2人と座談会を行いました。



●香取市を選んだ理由は
齊藤／旅行でゲストハウスを利用するのですが、そこで出会った外国の方から「佐原のまちに泊まりたいんだけど」と聞き、香取市は千葉の原風景が残る良いところだと感じていましたので、将来、佐原のまちでゲストハウスをやりたいと考えるようになりました。地域おこし協力隊という制度は、今の自分に不足しているものを補えると感じ、飛び込んでしまいました。
岡田／前職で観光雑誌の記者をしていましたので、次は観光の仕事がしたいと思っていました。それまで香取市に来たことはありませんでしたが、お祭りや香取神宮という観光資源があるの

地域の人々との信頼関係を軸に
齊藤 瑠奈 さん(船橋市出身)



さんのいる家庭として、移住の促進などを広報していくのが良いのではないかと考えています。豊かな自然環境の中で子ども時代を過ごせることは、貴重な体験だと思います。
岡田／家賃が高く、1人暮らし向けの賃貸も少ないため、若者が来るには難しいと思います。
●今後の活動は
岡田／雑誌を作っていた経験を生かし、紙媒体である市のパンフレットなどを「誰に必要なのか」「どういう項目が必要なのか」をもう一度考え、リニューアルしていきたいです。
齊藤／個人での発信には限界がありますが、すでに知名度のある施設などにも協力をお願いし、人と人とを繋ぐことで大きな発信に繋がっていきたいです。フィルムコミッションもその一つで、雑誌だけでなく、テレビ取材も増えていますので、その際に「実はこつちもありますよ」と紹介できたらいいなと思っています。

●貴重な意見を市政へ
市議会は、地域の皆さんの意見を伺う窓口でもあります。今回の座談会では、地域貢献のために活動する「地域おこし協力隊」のお二人から貴重なご意見が聞けました。香取市に足りないものは何か。情報発信や商品開発、観光客の受入体制、移住する側からの意見等を真摯に受け止め、皆さんの声を市政へ反映させる施策を提言していきます。

は知っていましたので、自分の持つスキルも生かせると思いました。
●現在の活動状況は
岡田／「ウエルカム・トゥ・千葉」という宿泊キャンペーンのガイドブックや物産カタログを作成しました。市のためになる事を探し取り組んでいます。
齊藤／フィルムコミッションの仕事をしています。この仕事には、町の人たちの協力が必要なため、なるべく外に出て、地域の人々と信頼関係が築けるよう活動しています。

を聴き、要望をくみ上げるイベントを考えていきたいです。
齊藤／水郷佐原観光協会の所属ですが、市の魅力を発信していくため、小見川、山田、栗源地域にも足をのぼし、地域の方のお話を聞いています。
●香取の資源とは
岡田／観光資源は現状で十分魅力的なので、商品開発や売り方などを考えることが、もっと観光を盛り上げていく上で必要だと思います。観光協会のある佐原だけ、小見川だけではなく市全体を盛り上げていくところにシフトできたらと思っています。
●移住・定住促進に足りないものは
齊藤／ターゲットを夫婦や小さなお子

●観光PRの広域連携への意欲は
齊藤／「東国三社参り」で香取神宮、鹿島神宮、息栖神社へ公共交通機関で行きたいという方がいるのですが、バスと電車をどう乗り継げば良いのかなどの情報が不足しています。香取市だけでなく、近隣の自治体と連携したPR活動が必要と考えています。

香取の観光資源を生かす
岡田 隆太郎 さん(富津市出身)

